

アンケート調査の実施について

新計画策定に向けた現行計画の振り返り、現在の市民の移動実態、課題、需要を把握するため、アンケート調査を行う予定です。現段階での調査項目は以下の視点で整理しています。

1. 現行計画の評価指標調査

(1) 成果指標とモニタリング指標

現行計画は、目標達成状況等を定期的に評価する2種類の指標を設定しています。

| 指標名称 | 内容 | 計測時期 |
|----------|------------------|-----------------|
| 成果指標 | ・5つの基本目標の達成度の指標 | 3～5年間隔（前回報告H30） |
| モニタリング指標 | ・事業の進捗状況を把握できる指標 | 年1回（毎年度末報告） |

次期計画策定にあたり、現行計画の達成度について、成果指標に基づく評価を行います。

(2) 成果指標の評価に向けて

評価する指標の根拠データのうち、既存データ等から判断できない指標（以下の1①、3②）についてはアンケート調査結果が必要となるため、この2点について今回のアンケート調査の設定に設定します。

| 基本目標 | 指標 | データ取得方法 |
|--------------------------------|--|----------------------|
| 1 安心して住み続け生活できる交通基盤の実現 | ①災害に強いみちづくりへの満足度 | ・アンケート調査 |
| | ②UDタクシー台数 | ・事業者データ |
| | ③交通空白地域人口 | ・バス路線位置、国勢調査人口 |
| 2 誰もが安全に移動できる交通環境の実現 | ①駅周辺歩行者、自転車交通事故件数 | ・警視庁所有データ |
| | ②整備対象主要生活道路の歩行者、自転車事故件数 | |
| | ③踏切事故件数 | |
| 3 安全で利便性の高い駅周辺交通環境の実現 | ①駅前広場及び駅前広場アクセス道路が整備された駅（箇所）の乗降人員の市内全駅乗降人員に対する割合 | ・事業者データ |
| | ②拠点駅における満足度 | ・アンケート調査 |
| 4 将来都市構造を支える骨格交通ネットワークの実現 | ①代表道路（新青梅街道、青梅街道、武蔵境通り）における旅行速度 | ・道路交通センサス ・旅行速度調査 |
| 5 マイカーに過度に頼らず移動しやすい低炭素な交通環境の実現 | ①公共交通利用者数 | ・事業者データ ・自転車交通量調査 |
| | ②自転車空間確保区間走行台キロ | |

※ 詳細は別紙 参考資料「現行計画（『西東京市交通計画』（平成26年3月策定））について」参照

2. 新計画策定に向けた調査

(1) 新計画の構成案

| 新計画案(国が例示する計画の構成) | (参考:現行計画) |
|----------------------------------|-----------------------|
| ① 基本的な方針 | 基本理念 |
| ② (計画の区域) | 基本目標 |
| ③ 計画の目標 | 計画基本方針 |
| ④ 目標を達成するために行う事業・実施主体・計画の達成状況の評価 | 事業・施策 ※ 別紙 参考資料 参照 |
| ⑤ 計画期間 | 計画期間 |
| ⑥ その他必要と認められること | |

(2) 市の現況と市民の移動実態について

計画では、市民の公共交通に関する「理想」と「実態」の差を把握し、理想像に近づけるための取組を施策として位置付けます。「実態」にあたる市の現況については、既存の全国都市交通特性調査などの大規模調査で把握していきますが、市内の生活圏に応じた移動の実態や「理想」(=ニーズ)については、既存の調査で把握することができないため、アンケート調査により把握していきます。

| 既存の大規模調査データで把握すること(例) | アンケート調査事項 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・人口動態、人口分布 ・将来人口見通し ・公共交通の整備状況、利用状況 ・通勤、通学流動 ・交通特性（移動目的、移動手段等） ・鉄道駅乗降状況、道路状況 | <ul style="list-style-type: none"> ●市内の詳細な移動実態把握 <ul style="list-style-type: none"> ・町丁別の移動実態 ・移動手段別ニーズ など ●移動や交通に関する意識調査 <ul style="list-style-type: none"> ・移動目的ごとの困りごと ・公共交通のあり方 など |

3. アンケート調査概要

(1) 市民アンケート

- ① 調査対象・標本数 西東京市住民基本台帳に登録された高校生以上の個人 ・ 3,000名
- ② 抽出方法 住民基本台帳により、人口構成比に配慮し無作為抽出
- ③ 調査方法 郵送配布、郵送回収またはWeb回答
- ④ 調査期間 令和4年11月中旬に発送(予定)、発送後約3週間後を期限とする。

(2) 中学生アンケート

- ① 調査対象・標本数 市内市立中学校生徒 ・ 1,200名程度
- ② 抽出方法 各校各学年1学級ずつ実施(学級の選定は各学校が行う。
ただし、特別支援学級については、選定が困難なため全学級を対象とする。)
- ③ 調査方法 各学校経由で配布、交換便等による回収
- ④ 調査期間 令和4年11月中旬に配布(予定)、配布後約3週間後を期限とする。

4. アンケート調査票案作成にあたっての事前調整

専門的な見地からご指導、ご意見をいただき、調査に反映するため、地域公共交通会議委員である学識者との意見交換を行ってきました。また庁内調整として「庁内検討委員会」において意見をききました。

(1) 学識者主なご意見

- ・移動は生活様式により左右されるためライフスタイルを把握できる形式が良い。
- ・施策や事業は具体策を提示すると導入する方向に回答が偏るため未確定事項は含むべきでない。
- ・目的や手段を尋ねるものは複数選択式にすることで主な選択要因が不明瞭になるため択一とする。
- ・移動手段については利用頻度、満足度、重要度を把握することがのぞましい。

(2) 庁内検討委員会主な意見、反映事項等

| | | 庁内検討委員会での主な意見 | 対応 |
|-----|---|---|---|
| 市民 | 1 | 今後10年間で市が実施したい施策等を提示しその良否を問う内容の方が良いのでは。 | 具体策は期待感により回答が偏る懸念があるため、現状把握と課題抽出から施策へつなげます。 |
| | 2 | 設問数が多い。 | 今後の計画策定に必要と考えられるものに絞り、設問数も一定数削減しました。 |
| | 3 | 路線バスとはなバスは、サービスに大きな違いがあるため、設問を分けては。 | はなバスは別途OD調査(R4.6実施)を実施したため、今回の調査では分けておりません。 |
| 中学生 | 4 | 中学生は、公共交通の利用が少ないと思われるためアンケート内容に工夫が必要。 | 移動実態を、交通手段別に聞くこととしました。 |
| | 5 | 利用実態を聞くのであれば、移動の不満や改善点を聞いてはどうか。 | 交通手段別に、利用時の困りごとについて設問を設けました。 |

この他、設問の表記に関してのご指摘は、アンケート案に反映済みです。